

「伊南行政組合昭和伊南総合病院新病院建設事業」

基本設計業務委託公募型プロポーザル

審査基準

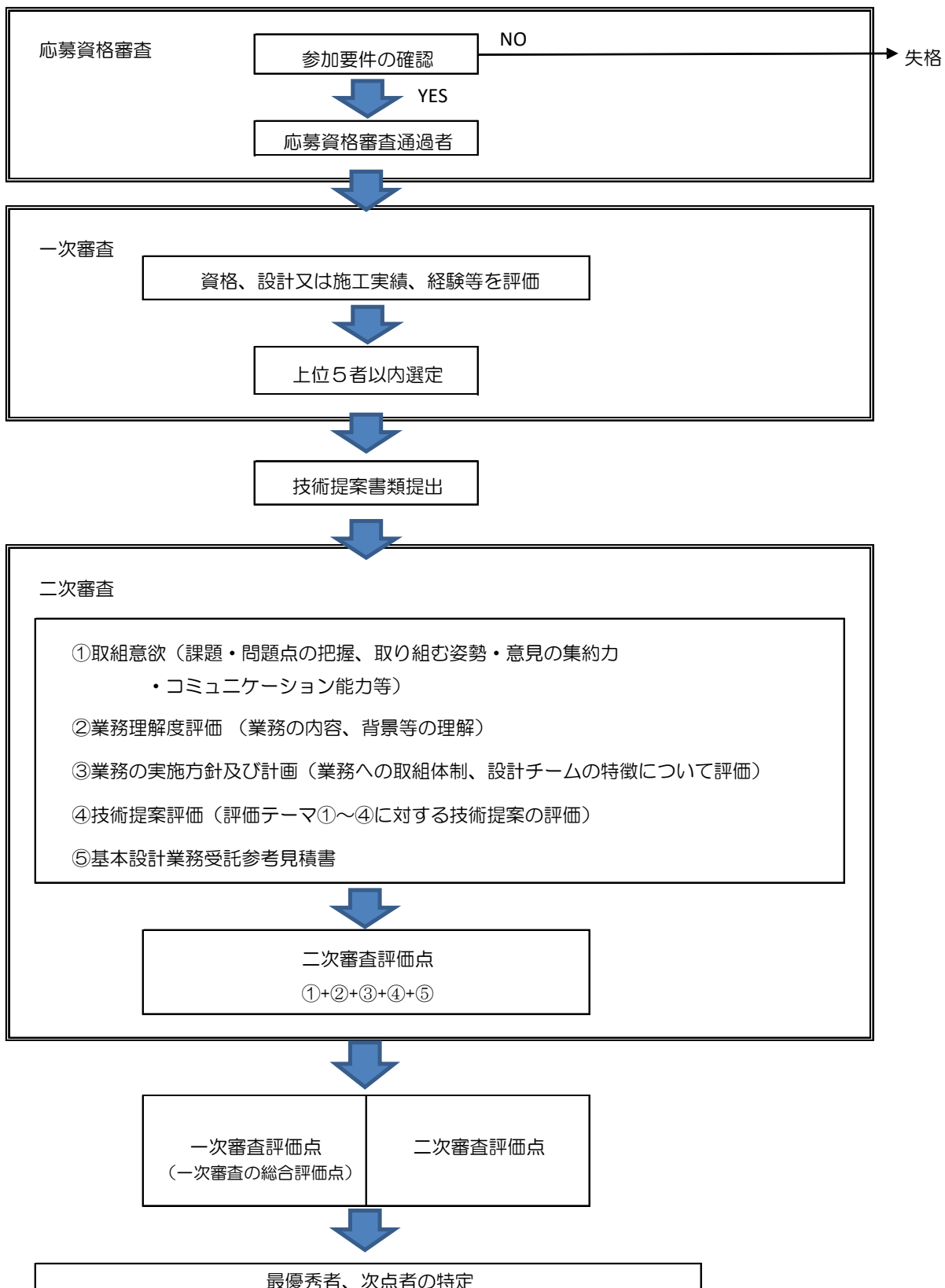
令和5年（2023年）6月

伊南行政組合

目次

1. 審査フロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2. 採点方法について
3. 一次審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 - (1) 一次審査評価
4. 二次審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 - (1) 二次審査評価
 - (2) 技術提案書の評価事項
 - (3) 最優秀者、次点者の特定
 - (4) 評価点が同一になった場合

1. 審査フロー



2. 採点方法について

各審査委員の得点を集計し、平均化した得点を評価点とする。平均方法については小数第2位を四捨五入の上、算出する。

ただし、審査の公平性を期すため、審査委員と提案者の関係において、審査委員が提案者を評価することに対して適切ではないと認められる場合は、技術提案、プレゼンテーション及びヒアリングの点数について、当該審査委員を除いた平均点数を評価点とする。

3. 一次審査

参加表明書と共に提出された、設計又は施工実績、資格、経験等について伊南行政組合昭和伊南総合病院新病院基本設計プロポーザル審査委員会において審査し、上位5者程度を一次審査通過者として選定する。

(1) 一次審査評価

一次審査評価は、下記の配点の合計で評価する。(配点 25 点)

評価項目		評価事項	配点	
企業	設計	一般病床 150 床以上の病院新築の実施設計完了実績	4	7
		免震構造物実施設計完了実績	3	
配置予定技術者	管理技術者		資格	4
			実績	
	主任技術者	建築意匠担当	資格	4
			実績	
		建築構造担当	資格	2
			実績	
	電気設備担当	資格	4	
		実績		
	機械設備担当	資格	4	
		実績		
合計			25	

① 企業実績評価

ア 平成 25 年度（2013 年度）以後、日本国内において、一般病床 150 床以上の病院新築の実施設計業務又は施工を完了した実績。(配点 4 点×評価係数)

設計及び施工実績数	評価係数
5 件	1.0
4 件	0.8
3 件	0.6

イ 平成 25 年度（2013 年度）以後、日本国内において、免震構造建築物の実施設計業務又は施工を完了した実績。(配点 3 点×評価係数)

設計及び施工実績数	評価係数
5 件	1.0
3～4 件	0.8
2 件以下	0.6

② 管理技術者実績評価（配点 4 点×評価係数）

平成 25 年度（2013 年度）以後、日本国内において一般病床 150 床以上の病院新築の実施設計を完了した実績

業務実績数	評価係数
5 件	1. 0
3～4 件	0. 8
2 件以下	0. 6

③ 各主任技術者資格評価（配点 2 点×評価係数）

専門分野	評価する技術者の資格	評価係数
機械設備	設備設計一級建築士	1. 0
電気設備	建築設備士	0. 8

④ 各主任技術者実績評価（配点 2 点（意匠担当 4 点）×評価係数）

平成 25 年度（2013 年度）以後、日本国内において一般病床 150 床以上の病院新築の実施設計を完了した実績

業務実績数	評価係数
5 件	1. 0
3～4 件	0. 8
2 件以下	0. 6

4. 二次審査

一次審査の通過者について、提案課題に対する提案書のプレゼンテーション及びヒアリングを行う。

(1) 二次審査評価

二次審査評価点は、下記の配点の合計で評価する。(配点×評価係数)

評価項目		評価事項	配点
取組意欲		ヒアリングにより評価する。 当該業務を実施するうえで課題や問題点を把握しており、積極的に取り組む姿勢・意見の集約力・コミュニケーション能力等が優れている場合に優位に評価する。	5
業務の実施方法及び手法（評価に当たっては、技術提案書の内容及びヒアリングの結果により、総合判断する。）	業務の理解度	業務内容、業務の背景等への理解が高い場合に優位に評価する。	10
	業務の実施方針及び計画	業務への取組体制、設計チームの特徴について評価する。	10
	技術提案テーマ①	その的確性（与条件との整合性が取れているか等）、独創性（工学的見地に基づく独創的な提案がなされているか等）、実現性（提案内容が理論的に裏付けられており、説得力のある提案となっているか等）を考慮して総合的に評価する。	14
	技術提案テーマ②		10
	技術提案テーマ③		10
技術提案テーマ④	12		
見積評価		見積金額の妥当性について評価する。	4
合 計			75

ア 二次審査の評価は、下記の評価基準により評価する。

評価	評価基準	評価係数
A	優良	1.0
B	良好	0.8
C	やや良好	0.6
D	普通	0.4
E	不十分	0

(2) 技術提案書の評価事項（配点×評価係数）

提出された技術提案書に対して「業務の理解度」「的確性（与条件との整合性がとれているか等）」「独創性（将来を見据えた独創的な提案がされているか等）」「実現性（提案内容が理論的に裏づけられており、説得力のある提案になっているか等）」を考慮して総合的に評価する。

(3) 最優秀者、次点者の特定

最優秀者、次点者の特定は、下記の計算の合計で評価する。

$$(100 \text{ 点}) = \text{一次審査評価点 (25 点)} + \text{二次審査評価 (75 点)}$$

(4) 評価点が同一になった場合

評価点が同一になった場合は、審査委員会の定める方式により最優秀者を決定するものとする。